

第7回有機結晶プレシンポジウム開催報告

山形大学大学院有機材料システム研究科 片桐 洋史

第30回有機結晶シンポジウム開催日の前日11月3日、第7回有機結晶プレシンポジウムが名古屋大学野依記念学術交流館にて開催されました。招待講演2件、参加者数は79名でした。多くの方にご参加いただき、興味深いご講演と活発な議論が行われました。昨年のプレシンポジウムは規模を縮小してオンラインで開催いたしましたが、今年は現地実行委員の水津理恵先生（名古屋大学）のお世話のもと3年ぶりの現地開催となりました。

招待講演では、澤田知久先生（東京工業大学）と植草秀裕先生（東京工業大学）よりご講演をいただきました。澤田先生のご講演では、ペプチド鎖のフォールディングと金属配位の協奏的な自己集合が形成する高次トポロジー構造の構築について最先端の研究内容をお話いただきました。植草先生のご講演では、単結晶X線構造解析において近年ますます重要性が高まっている水素原子の取り扱いについて、データ解釈における注意点から最新の精密化の方法までを丁寧にご指南いただきました。プレシンポジウムの最後には、広報委員によるポスター掲示とフリーディスカッションが開催されました。学生を含めた若手研究者が、有機結晶とその魅力について自由に語り合う有意義な時間となりました。参加した学生からは、「多くの学生や研究者と交流を持てた」、「学生が研究者に自由に質問するスタイルが斬新だった」といった感想が寄せられました。次回のプレシンポジウムで皆様にお会いできますことを心待ちにしております。

最後になりましたが、プレシンポジウムの開催にあたって多大なご協力とご助言を賜りました部会役員や部会員の皆様、現地実行委員の皆様に心よりお礼申し上げます。



ポスター展示の様子

第7回有機結晶プレシンポジウム

概要

- 主催： 公益社団法人 日本化学会 有機結晶部会
共催： 公益社団法人 日本化学会 有機結晶ディビジョン、名古屋大学大学院理学研究科
協賛： 公益財団法人 中部電気利用基礎研究振興財団、公益財団法人 大幸財団
会期： 2022年11月3日（木・祝）14:00～17:00
会場： 名古屋大学 野依記念学術交流館

プログラム

- 14:00～14:10 趣旨説明（広報委員会委員長）
14:10～15:00 「フォールディング集合法：高次絡まり分子トポロジーの合成法」
澤田 知久 先生（東京工業大学 科学技術創成研究院 准教授）
15:00～15:50 「結晶構造解析における水素原子の取り扱い」
植草 秀裕 先生（東京工業大学 大学院理工学研究科 物質科学専攻 准教授）
15:50～16:10 コーヒーブレイク
16:10～17:40 広報委員の紹介とポスター展示